

英語コミュニケーションⅡ 指導案 “AI and Our Future”

日 時 令和6年11月26日(火)
 対 象 第2学年4組 34名
 授業者 安来高等学校 砂流 苑実

1 単元の目標

- ・ 仮定法のうち基本的な表現を用いた文の特徴や決まりを理解し、仮定法などを用いて伝え合う技能を身に付けている。＜知識及び技能＞
- ・ AIに関して読んだことについて、考えたことや感じたことなどを、英文を引用するなどして伝え合ったり書いたりしている。＜思考力、判断力、表現力等＞
- ・ AIに関して読んだことについて、考えたことや感じたことなどを、英文を引用するなどして伝え合ったり書いたりしようとしている。＜学びに向かう力、人間性等＞

2 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
〈知識〉 AI ロボット，および AI と共存する未来についての会話を聞き取るために必要な語彙や表現を理解している。 〈技能〉 AI ロボット，および AI と共存する未来について書かれた文章を読み取る技能を身に付けている。	AI ロボット，および AI と共存する未来について理解するために，AI と共存する未来について書かれた文章を読んで，英文を引用するなどして伝え合ったり書いたりしている。	AI ロボット，および AI と共存する未来について理解するために，AI と共存する未来について書かれた文章を読んで，英文を引用するなどして伝え合ったり書いたりしようとしている。

3 学習の基盤

(1) 教材観

本単元は AI との共存をテーマとし、AI がもたらす恩恵（迅速な医療診断、自動運転技術の発展など）と脅威（近い将来人間を凌駕する知性獲得の可能性とそれによる問題）について考察している。主な文法事項としては仮定法過去、仮定法過去完了、関係代名詞の継続用法など、高度な文法事項を含み、内容面だけでなく語彙や文法のレベルも他課に比べてやや高いものであるが、英語コミュニケーションⅡの総仕上げとして挑戦させたい。

(2) 生徒観

個人情報保護のため省略

(3) 指導観

他の単元と同様に、授業前の教科書予習は行わず、始めにリスニングで概要を把握し、初見の英文を読み、英問英答やサマリーの空所補充などを通して本文理解を図る。また、本文の音読活動と再話活動を通して理解を深め、表現力と要約力の育成を図りたい。また、一見日常生活とは遠いかのように思える AI が、実は身近なところで活用されていることに気づき、AI のもたらす恩恵と脅威について多面的に考える機会としたい。まとめの表現活動として、AI の可能性についての意見交換を通して理解を深め、生徒同士で即興のロールプレイングを行うことでとっさの反応力や自分の考えを理由とともに表現する力を育成したい。これらを通して、生徒が将来、社会や世界、他者との関わりの中で AI などの社会的話題を含む幅広い話題について自分自身の立場や考えを適切に表現できるよう指導していきたい。

4 単元の「指導と評価の計画」（全6単位時間）

時	主たる学習活動	評価規準	評価方法
1	Lesson の導入 Part 1 の概要を捉える		記録に残す評価は行わないが、指導に生かす見取りは毎時間行う。
2	Part 1 の新出語・文法事項の確認 AI の発展により加藤さんの人生がどのように変わったのかを理解する Part 2 の概要を捉える		

3	Part 2 の新出語・文法事項の確認 AI の進化を可能にしたディープラーニング技術について理解する Part 3 の概要を捉える		
4	Part 3 の新出語・文法事項の確認 AI の活用の実態と将来の可能性について理解する Part 4 の概要を捉える		
5	Part 4 の新出語・文法事項の確認 AI の急速な進化がもたらすリスクと、人間と AI との今後の関係を考える		
6 (本時)	教科書の内容、読んだ情報を参考にしながら AI の活用の利点と問題点を整理し、ロールプレイにおいて自分の立場を支持する理由とともに意見を相手に伝える	AI と人間それぞれの利点を整理し、伝え合うことができる。	ワークシート、活動の観察

5 本時の指導 (本時 6 / 6)

(1) 本時の目標

ロールプレイにおいて、AI と人間それぞれの利点を互いに伝え合うことができる。【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】

(2) 展開

時間	学習活動	指導上の留意点
導入 5 分	○挨拶 ○即興チャット ・世界中どこでも行けるとしたら、どこへ行きたいかについてペアで会話をする ・代表の生徒数名が発表する ○本時の目標の確認 AI と人間それぞれの利点と欠点について考え、ロールプレイで自分の考えを理由とともに相手に伝えることができる。	 ・生徒の活動のモデルとなるように表現を工夫する ・帯活動において既習表現の仮定法を活用した会話活動を取り入れることで、復習する機会を意図的に設定し、言語の使用場面や使用方法について繰り返し触れることで、知識・技能の定着を図る ・目標を分かりやすく提示する
展開 1 10 分	○動画の視聴 ・動画の聞き取りのポイントを理解する ・2 回動画を視聴し、新しい表現を学ぶ ・AI ロボットが採用されている理由と、このレストランについてリポーターはどのように感じているのかを聞き取る ・自身の考えをペアと共有する	・動画視聴のポイントを与える ・1 回目でどんなレストランなのか、概要を捉えさせる ・2 回目は速度を遅くして再生し、レストランにおける AI ロボット活用の利点に注目して視聴させる ・生徒の反応を見て必要であれば 3 回流す ・レストランにおける AI の活用についての意見をペアで共有させる
展開 2 10 分	○動画のレストランに関連した英文の読み取り ・レストランにおいてロボットを活用することの良さ、人間の良さを読み取る ・ペアに質問してワークシートに不足している情報を補う	・ワークシートで与える情報の差を作ること で、生徒同士の会話を通して AI と人間のメリットを整理できるようにする

展開 3 20分	○ロールプレイの準備 - それぞれの役割の設定と目標について、確認する Role A You are the manager of a busy restaurant. You are thinking about replacing all your human servers with AI robots. You believe this will be more efficient and cost-effective in the long run. Clearly explain the advantages of using robot servers. Role B You are a college student who works part-time as a server at the restaurant. You need this job to pay for your college tuition. Clearly explain the advantages of human servers. Your main objective is to keep your job. - AI ロボットの良さ、人間の良さの両方についてワークシートに整理する - 自分の考えを書き終えたら、他の生徒のワークシートから自分の考えを書く際に参考となる表現を学ぶ - ロールプレイに役立つ表現を声に出して練習する ○ロールプレイを行う - 中間指導を受け、表現を広げる - よりよく相手に伝わるような工夫や改善点を発見する ○ロールプレイを行う（2回目） - 新しいペアの相手と伝え合う ○役割を入れ替わりロールプレイを行う - 新しいペアの相手と役割も変えて伝え合う ○ロールプレイを行う（2回目） - 新しいペアの相手と伝え合う	- それぞれの役割の設定と目標について、ワークシートを使って確認させる - 他の生徒の意見を自分のワークシートに付け加えても良いこととし、スローラーナーには他の生徒の英文を参考にして書かせ、早く書き終わった生徒には他の生徒の英文を読ませることで自分の意見を深めさせる - ロールプレイに役立つ表現を紹介する - 良い点や、気を付けるべき点があれば全体で確認し、活動の効果を上げる - 活動を繰り返させることにより、よりよく相手に伝わるような工夫や改善点を意識しながらやり取りをさせる - 立場を入れ替わらせることにより、多角的な視点を持たせる - 活動を繰り返させることにより、よりよく相手に伝わるような工夫や改善点を意識しながらやり取りをさせる
まとめ 5分	○振り返り 本時の授業で学んだことや、言いたかったけれど言えなかった表現をワークシートに記録する	AI のメリット、デメリットを、読んだ情報や友達の見解を参考にして、自分なりに工夫して相手に伝えることができたかという観点で振り返りをさせる

(3) 本時の評価

十分満足できる	概ね満足できる	支援を要する
相手の主張を理解した上で自分の考えを支える理由を2つ伝え、相手を説得できている。	相手の主張を理解し、自分の考えとそれを支える理由を1つ伝え、やり取りができている。	やり取りが成り立っていない場合、机間指導で声をかけ、ヒントとなる表現リストを示したり、事前準備用のワークシートの内容を参考にさせたりする。